

栄養やまなし



平成27年1月 公益社団法人 山梨県栄養士会
〒400-0805甲府市酒折1丁目1-11 ☎055-222-8593



メタボリックシンドローム予防のための健康セミナー風景

1・2・3月の行事予定

生涯教育研修会
新任者研修会
栄養業務研究発表会

2月21日(土)ぴゅあ総合
2月28日(土)山梨学院短期大学
2月28日(土)山梨学院短期大学

目

次

新年のご挨拶

会長 田草川憲男…………… 2

案内

- ・生涯教育研修会の開催について…………… 3
- ・栄養業務研究発表会の開催について…………… 3
- ・栄養士新任者研修会の開催について…………… 3
- ・第29回管理栄養士国家試験の実施について …… 3
- ・研究発表会発表要旨…………… 4

お知らせ

- ・栄養士の会員情報をWebで見るには?…………… 5
- ・生涯教育は今までと何が違うのか?…………… 6
- ・平成26年写真で見る山梨県栄養士会の主な活動 …… 8

各種事業・研修会等実施のようす

- ・歯の衛生週間に伴う栄養相談の実施状況…………… 10
- ・指導者のための健康栄養セミナーを開催しました… 11
- ・第61回日本栄養改善学会に参加しました …… 11
- ・特定保健指導スキルアップ研修会を開催しました… 11
- ・食の安全・安心食育セミナーに協力しました…………… 12
- ・いきいき山梨ねりんピックでの取り組み…………… 12
- ・がんフォーラムでの栄養相談の取り組み…………… 12
- ・山梨県民歯科保健のつとめでの取り組み…………… 12
- ・県民の日記念行事での栄養相談の取り組み…………… 12
- ・メタボリックシンドローム予防セミナーを開催しました …… 13
- ・健やか山梨21推進大会に参加しました …… 13
- ・県栄養管理研修会を実施いたしました…………… 13

- ・出前栄養相談事業での様子…………… 14
- ・市町村管理栄養士設置に関する陳情を実施いたしました …… 14

厚生労働大臣表彰…………… 15

県知事表彰…………… 16

日本栄養士会会長表彰…………… 17

「会員の声」…………… 18

職域事業部のコーナー

- 学校健康教育事業部…………… 20
- 公衆衛生事業部…………… 20
- 研究教育事業部…………… 21
- 勤労者支援事業部…………… 21
- 地域活動事業部…………… 22
- 医療事業部…………… 22
- 福祉事業部…………… 23

こんにちは ～給食委託会社勤務の会員から～

- ・富士メディカル…………… 24
- ・(株)レパスト…………… 24

JDA-DATの活動について …… 25

H26年2月の豪雪時の対応についてのアンケート結果 …… 26

栄養やまなしNo.100号記念特集 …… 27

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

- ・公益社団法人 山梨県栄養士会役員一同…………… 29
- ・公益社団法人 山梨県栄養士会賛助会員…………… 30

事務局からのご案内…………… 32

平成26年度（第25回）栄養業務研究発表会（山梨県ミニ栄養改善学会）発表要旨

日時 平成27年2月28日（土）
9時30分～12時
会場 山梨学院短期大学
内容 各職域部会より研究発表7題

学校健康教育学部

かえで支援学校 秋山真喜子

演題「食に関する指導の取り組み」

給食時間を利用して、食に対して興味を持ち、正しい食習慣を身につけられるよう、食に関する指導をしています。その中で生徒に実施したアンケート結果から見えた課題や、かえで支援学校での取り組みについて発表します。

公衆衛生事業部

北杜市健康増進課 佐藤 悦子
甲斐市役所健康増進課 高野 尚子

演題「低出生体重児に関する市町村栄養士の取り組み」

低出生体重児には、出生後の発育、疾病罹患等に関する様々なリスクがあることが報告されている。2003年から県内でも低出生体重児が10%超の状況が続いている。妊娠前・出産後の食生活・食環境が児の将来に影響が大きいことも学んだ。市町村の現状を踏まえ要因について考察し、最終的には市町村栄養士としての効果的な支援方法を共有したい。その経過を報告する。

低出生体重児には、出生後の発育、疾病罹患等に関する様々なリスクがあることが報告されている。2003年から県内でも低出生体重児が10%超の状況が続いている。妊娠前、妊娠期及び出産後の栄養管理に携わる行政栄養士として、現状を踏まえ要因について考察し、より良い支援方法を検討することを目的に、公衆衛生事業部では、平成24年度より「低出生体重児に係る研究」を実施している。今回はその経過を報告する。

研究教育事業部

山梨学院短期大学 青木 慎悟

演題「スポーツ栄養学のエビデンス確立に向けての課題」

日々の食事内容は流動的であり、それらをすべて正確に把握し、栄養指導へと反映させていくのは極めて困難である。しかし、栄養学のエビデンスを積み上げていく上で、食事内容や栄養素摂取量の調査は避けて通ることができない。私たち栄養士・管理栄養士は食習慣というブラックボックスを科学するため、様々な食事調査法を持ち合わせているが、特にスポーツ栄養の分野では十分な研究が進められていない。エビデンスに基づいたスポーツ栄養学を発展させていくには、スポーツ実施者において妥当性検討のなされた食事調査法を確立することが急務である。本発表では、私たちが行った実践研究の結果も踏まえながら、スポーツ栄養学の今後について考えを述べたい。

地域活動事業部

佐野 桂子

演題「市の母子栄養事業に関わって」

山梨県には低体重児が多いと言われている近年、市の母子栄養事業に関わり、多種多様の問題を改善する為の栄養指導をどのようにアプローチするかが大きな課題です。

今回はアンケート調査や面談時などのデータを基に、対象者が何を望み、何を求めているのか、またそこから見えてくるものは何かについて発表したいと思います。

勤労者支援事業部

キープ自然学校 橋住 輝幸・大柴 由紀

演題「団体宿泊施設（キープ自然学校）でのアレルギー対応の現状と今後の課題について」

アレルギー対応の現状と今後の課題について
キープ自然学校の2013年度提供食数は30,000食を越えている。中でも未就学児から中学生の利用が多く、全体の半数以上を占めている。これらの中には食物アレルギーを持つ子どもたちも含まれ、家庭から離れた場所での食事に不安を抱くのは周知の事実である。

本調査ではアレルギー原因食材の傾向を数値化し、キープ自然学校で代替対応した内容をまとめた。まだ十分な対応ができたとは言えず、改善が必要である。喫食者である子どもたち含め保護者、付き添いの先生方のご意見も参考に今後の課題を抽出し検討したものを報告とする。

医療事業部

山梨県立中央病院 栄養管理科 石川 綾美

演題「重症疾患を持った小児の成長発達に合わせた栄養の介入」

胃瘻からの栄養は、液体栄養剤の使用が一般的である。しかし、経口摂取困難な小児の栄養路として胃瘻を造設した場合、注入内容の設定は年齢や消化機能、生活環境をふまえて検討することが望ましく、重症疾患を有する児においても、成長発達に合わせて変更していく必要がある。人工呼吸器管理下の3名に対する栄養介入について報告する。

福祉事業部

北杜市役所 福祉部 子育て支援課 坂本 夏美

演題「保育園での食育活動を通して」

保育園の食育教室やクッキング体験を通して、子どもたちに「食べることは生きること」とあり、「食とは楽しいこと」を伝えたいという考えから、食に興味を持たせる取り組みを実施しています。また、北杜市は、食と農の杜づくり課があります。その課と連携し、畑作りやみそ作り体験も行っています。今回は、食育活動の内容やその中で感じたこと、今後の課題について発表いたします。

お知らせ

栄養士会の会員情報や研修会の開催や申込みをWebで見るとは？

●引越して住所が変わった！勤務先が変わった！さあどうする？

・これまでは

①住所等の変更内容をメール、郵送、FAXにて栄養士会へ連絡する。

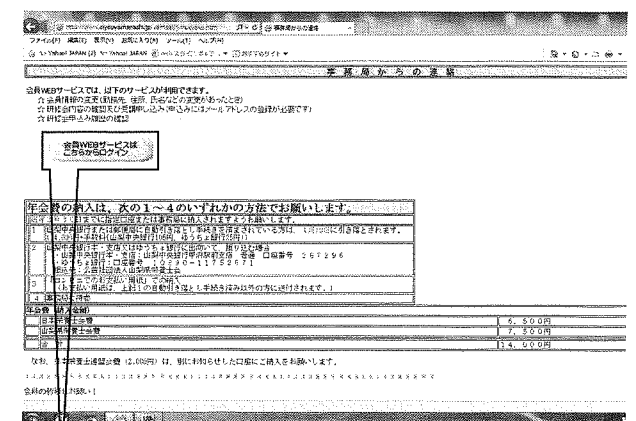
②栄養士会事務局で、会員情報を変更・更新。

・これからは（※これまで通り、メール等にてのご連絡により変更・更新も可能です）

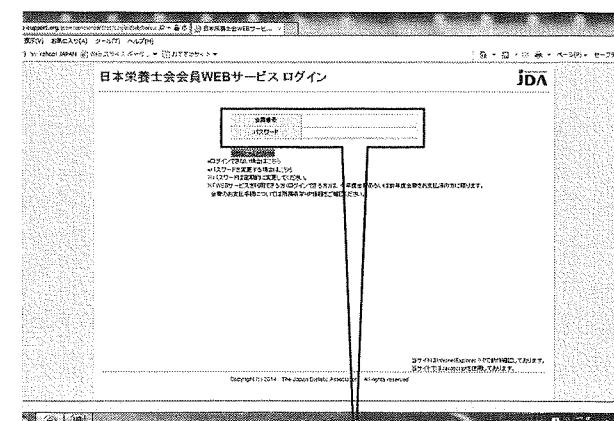
※まずは山梨県栄養士会ホームページにアクセス！！



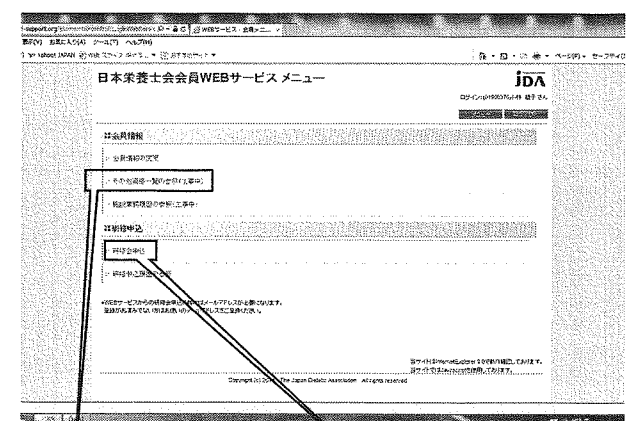
①トップページの「会員Webサービスはコチラ」をクリック！！



②「会員Webサービスはこちらからログイン」をクリック！！



③「会員番号」と「パスワード」を入力！！（※パスワードは「日本栄養士会雑誌」7月号に同封され送付されておりますが、紛失された方はパスワードを再発行いたしますので、山梨県栄養士会事務局までご連絡下さい。）



④「会員情報の変更」をクリックし、変更する情報を入力更新して下さい。

※「研修会申込」をクリックすると栄養士会で開催される研修会の申込が出来ます。

「生涯教育は今までと何が違うのか？」

平成26年度より新制度でスタートした、日本栄養士会の生涯教育体系の基本的考え方には、栄養を通して人々の健康維持・増進、疾病予防、治療にかかわる業務の専門職である管理栄養士・栄養士は、その職務を果たすにあたって必要となる知識を修得し、日々研鑽を重ねて身に付け、公衆衛生向上へ寄与すべきであるとしています。自身の日常業務に必要な知識の学習は当然で、管理栄養士・栄養士として科学の進歩と社会の変化に的確に対応するために、常にスキルの向上を図り、専門職としての能力の習熟が求められます。

＜専門職としての役割と5つの到達目標＞

■管理栄養士・栄養士は、医療職であると自覚できる。

また、日常業務を遂行する上で、管理栄養士・栄養士の職業倫理について、真剣に考えたことはありますか？ 日本栄養士会が定義する内容は、以下の通りです。

職業倫理とは？

- 日本で、“Professional Ethics”を「職業倫理」と訳した
- 「職業倫理」の「職業」とは、「仕事」ではなく、“Professional”のこと
- “Professional”の訳語は、天職/公益的職業（公職）

職業倫理を論ずることは、職業の公益性を論ずること
職業倫理の確立は、職業の公益性を社会に確立すること

職業倫理を論ずる前提 管理栄養士・栄養士という職業が公益であること

管理栄養士・栄養士の職業倫理の基礎的論点
①専門職としての固有業務は何か？
②固有業務の本質・特性は何か？
③固有業務はいかなる意味で公益か？

管理栄養士・栄養士の医療職性について
①固有業務はいかなる意味で医療行為か？
②いかなる種類の医療職か？
③医療行為を正当化するものは何か？

職業倫理を論ずる意義

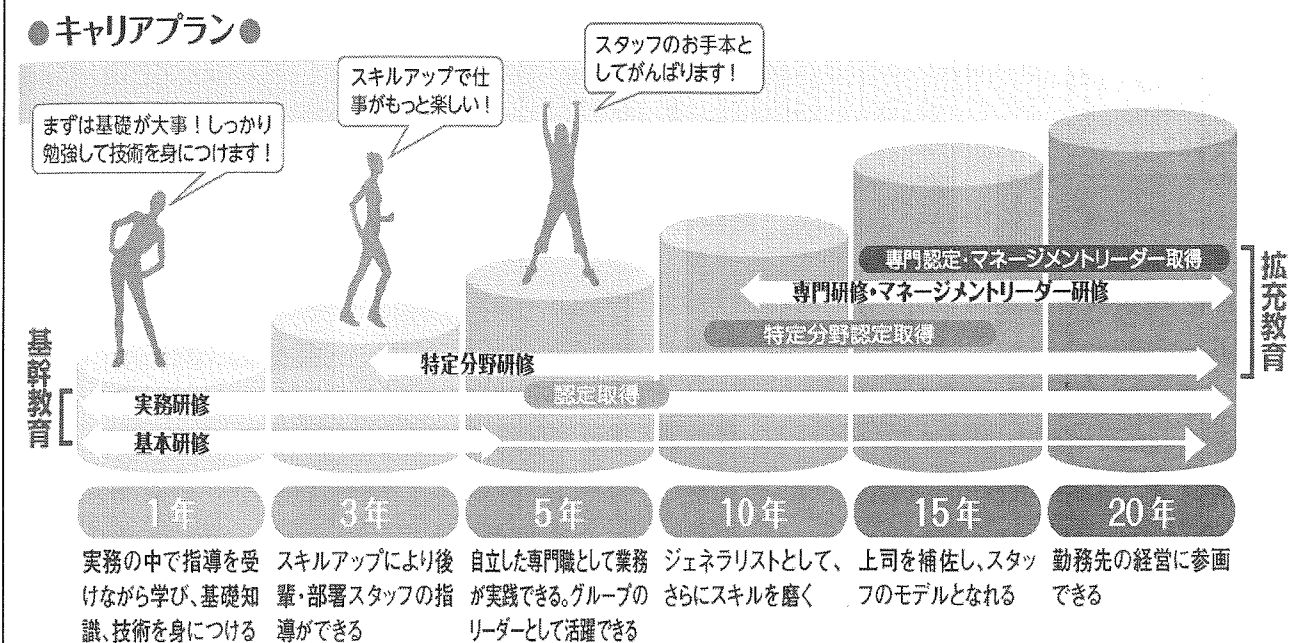
あるべき管理栄養士・栄養士像
①を練り上げる作業
②に到達する実践の指針を作ること
③への実践と社会との共有

JDA

生涯教育を継続的に受講することで、自己研鑽を重ね、プロフェッショナルな認定管理栄養士・認定栄養士を目指しましょう！！認定分野には8つの専門分野【臨床栄養、学校栄養、健康・スポーツ栄養、給食管理、公衆栄養、地域栄養、福祉栄養（高齢・障がい）福祉栄養（児童）】が準備されています。ご自身の専門に特化した分野を選択してください。また、認定試験受験申請必要書類や要件一覧をご覧ください、必要単位やキャリアシート、学会発表などを毎年整え、申請時に準備下さい。

「継続は力なり」という言葉通り、キャリアプランに「自分の今」を当てはめて、多職種がさらなる連携を深めて、ともに切磋琢磨しながら、食に関わる専門職としてのスキルを磨いていこうではありませんか。そのためには今が絶好のチャンスかもしれません。多くの山梨県栄養士会会員の皆様の受講を願っております。

●キャリアプラン●



認定試験受験(更新)申請への必要書類及び要件一覧

			通常の受験申請	移行措置期間(平成26～28年度)中の受験申請			更新申請
				生涯学習修了証明書所持	生涯学習単位取得	実務経験15年以上	
受験(更新)申請書			○	○	○	○	○
実務経験			5年以上	—	5年以上	15年以上	—
基幹教育 ※2	基本研修		30単位以上 (必須20単位を含む)	必須20単位	30単位以上 (必須20単位を含む) (生涯学習単位を移行可) ※4	30単位以上 (基本研修の必須20単位を含む) (自己研鑽と合わせて60単位以上(臨床栄養70単位以上))	30単位以上 (自己研鑽と合わせて60単位以上)
	実務研修		30単位以上 (臨床栄養40単位以上)	—	30単位以上 (臨床栄養40単位以上) (生涯学習単位を移行可) ※4		
キャリアノート	到達目標		概ねレベルⅢ以上	概ねレベルⅢ以上	概ねレベルⅢ以上	概ねレベルⅢ以上	—
	キャリアシート		5テーマ以上／年	5テーマ以上／年	5テーマ以上／年	5テーマ以上／年	—
	学会	発表実績がわかる書類 (抄録など)	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上	自己研鑽に含む
		参加実績がわかる書類 (参加証など)	3回以上	3回以上	3回以上	3回以上	3回以上 (臨床栄養5回以上)
事例報告書			○	○	○	○	自己研鑽に含む
自己研鑽			—	—	—	20単位以上 (基幹教育と合わせて60単位以上(臨床栄養70単位以上))	20単位以上 (基幹教育と合わせて60単位以上)
生涯学習修了証明書			—	○ (平成21年度以降) ※3	—	—	—

※1 申請書以外の書類は、全て写しで可

※2 基幹教育の取得単位は、システム稼働後はWeb上で確認可能のため、書類の添付は不要

※3 福島、宮城、岩手の3県については、震災により未実施年度があるため、平成20年度以降

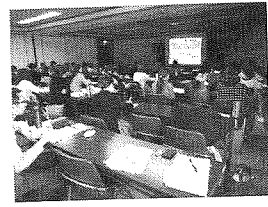
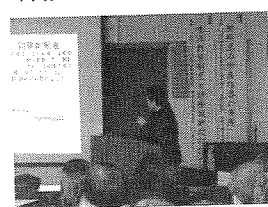
※4 平成21年度以降の取得単位

山梨県栄養士会 平成26・27年度生涯教育委員長

山梨学院短期大学 食物栄養科 中川裕子

平成 26 年 写真で見る山梨県栄養士会の主な活動 (H26.1.1 ~ 12.10)

研修会

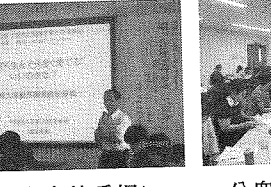
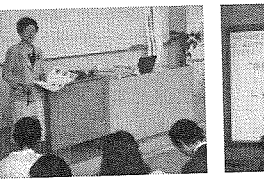


医療事業部関東ブロック研修会 H26.2.15 (土) 生涯教育研修会 5.31 (土) ~ 2.21 8日間 24 講座



栄養業務研究発表会 H26.3.1 (土)

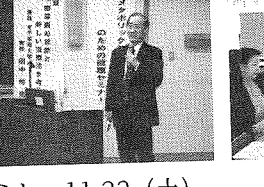
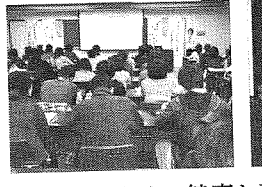
中北支部研修会 11.30



健康栄養セミナー 7.5 (土)

低出生体重児に関する研修会

公衆衛生事業部 8.22 (金)

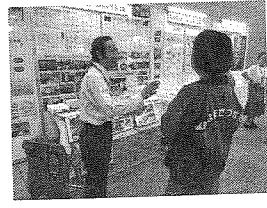


メタボリックシンドローム予防のための健康セミナー 11.22 (土)

特定保健指導 スキルアップ研修会 8.30 (土)

保健指導風景

県民への「健やか山梨 21」普及啓発のためのイベント参加



日本栄養改善学会展示会場・山梨県栄養士会活動紹介ブース 8.21~22 パシフィコ横浜 ヤクルト共催栄養相談パークス



やまなし食の安全推進大会 9.10 (水)・食の安全推進月間 9.11~掲示

いきいき山梨ねりんピックにおける栄養相談 9.27 (土)

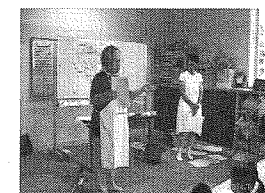
平成 26 年 写真で見る山梨県栄養士会の主な活動 (H26.1.1 ~ 12.10)



県民歯科保健のつどいにおける栄養相談 10.26 (日)



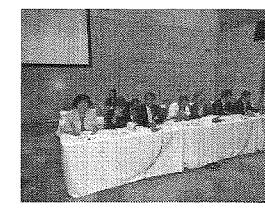
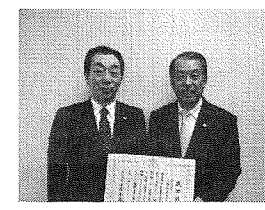
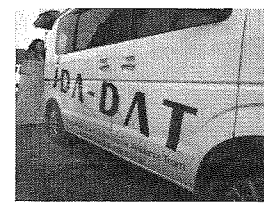
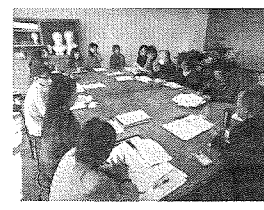
県民の日における栄養相談 11.15 (土)~16 (日)



山梨がんフォーラム 10.5 (日) がんチャリティー 12.7 (日)

児童館での食育活動 年間

会議・委員会・陳情

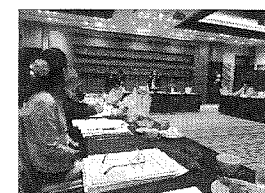
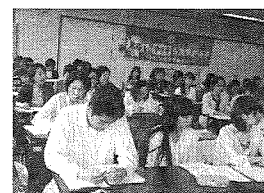


理事会 26.3.8 (土)

JDA-DAT 日栄災害支援車山梨公開

東日本大震災支援 厚労大臣感謝状

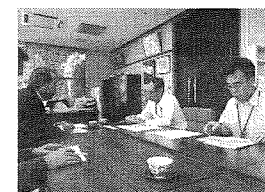
日栄総会で田草川会長が議長に 6.22~23



平成 26 年度第 30 回定時総会 5.24 (土)

日栄関東ブロック会長会議 8.28~29 長野市

日栄新事務局 東京新橋



栄養やまなし編集委員会 9.18 (木)

栄養・食生活編集委員会 7.29・10.7 (火)

市町村行政管理栄養士配置の陳情 H9.26 ~

各種事業・研修会等実施のようす

歯の衛生週間に伴う栄養相談を実施

各支部での取り組み

・中北支部

と き 平成 26 年 6 月 1 日 (日)
 ところ 山梨県立図書館 1 F イベントホール
 内 容 ・料理カードを使ったコンピュータによる食事バランス診断・栄養指導
 ・クイズチャレンジによる雑穀米・経口補水液 (ORS) ・カルシウムについての説明

協力者 秋山 知子 (学校健康教育事業部)
 山下ますみ (公衆衛生事業部)
 織田 鮎美 (研究教育事業部)
 伊藤 貴子 (勤労者支援事業部)
 玉川真奈美 (地域活動事業部)
 芦沢 恵介 (地域活動事業部)
 古屋百合子 (地域活動事業部)
 黒崎 禎巳 (医療事業部)
 齊藤 寛子 (医療事業部)
 日向 誠 (医療事業部)
 若狭 綾子 (福祉事業部)
 武井さおり (福祉事業部)
 赤澤 瑞季 (福祉事業部)
 山梨学院健康栄養学部
 ボランティア 7 名



・峡北支部

と き 平成 26 年 6 月 1 日 (日)
 ところ イオンモール 甲府昭和
 韮崎市民センターニコリ 計 2 カ所
 内 容 ・栄養相談
 ・幼児 1 日の食事見本 (フードモデル) 展示
 ・お菓子と同エネルギー量のおにぎり、飲み物に含まれる砂糖量との比較展示

・歯にいい試供品やおやつレシピ等の配布

協力者 藤井 匡明 (福祉事業部)
 藤巻 藤子 (福祉事業部)
 竹本 奈緒 (福祉事業部)
 川村もと江 (福祉事業部)
 新海みちる (公衆衛生事業部)
 堀内真理子 (公衆衛生事業部)
 中村ゆかり (公衆衛生事業部)
 酒井美恵子 (医療事業部)



・峡東支部

と き 平成 26 年 6 月 8 日 (日)
 ところ いちやま mart 山梨店
 イオン石和店 計 2 カ所
 内 容 ・栄養相談
 ・三大栄養素別食品の塗り絵
 ・まめっこを使用した正しい箸の持ち方

・資料、もち麦の配布
 協力者 福永千賀代 (地域活動事業部)
 小池あゆみ (公衆衛生事業部)
 宮川 善美 (公衆衛生事業部)
 萩原 千晶 (福祉事業部)
 細井 洋子 (医療事業部)
 向井 紗希 (医療事業部)
 興石 文賀 (福祉事業部)
 里吉ひろ美 (地域活動事業部)



・峡南支部

と き 平成 26 年 6 月 8 日 (日)
 ところ 市川三郷町民公民館
 内 容 ・食育マットを使用したゲーム
 ・エプロンシアター
 ・カルシウムクイズ「牛乳と納豆の比較」
 ・栄養相談

協力者 藤原由紀子 (公衆衛生事業部)
 廣瀬 真美 (公衆衛生事業部)
 井上さなえ (福祉事業部)
 田中 典子 (福祉事業部)
 荒川 京子 (医療事業部)



・富士・東部支部

と き 平成 26 年 6 月 7 日 (土)
 ところ Q - S T A
 内 容 ・栄養相談
 ・飲料の砂糖含有量の展示
 ・Ca 強化ウエハースやふりかけのサンプル配布

協力者 土屋 加織 (福祉事業部)
 長田 文江 (福祉事業部)

指導者のための健康栄養セミナーを開催しました

と き 平成 26 年 7 月 5 日 (土)
 ところ 山梨学院短期大学
 参加者 ・管理栄養士、栄養士 84 名
 ・食生活改善推進員 58 名
 ・学院大学・短大学生 88 名
 内 容 大豆についての機能や価値等の講演・大豆に関する商品紹介・曙大豆を使用したレシピの紹介

協力者 田草川憲男 (会長)
 秋山 知子 (学校健康教育事業部)
 藤原由紀子 (公衆衛生事業部)
 守屋 亜子 (研究教育事業部)
 天野江津子 (勤労者支援事業部)
 沢登 京子 (地域活動事業部)
 深澤 恵利 (医療事業部)

風間 智恵 (福祉事業部)
 山梨学院大学健康栄養学部
 学生ボランティア 4 名
 山本 聖子 (事務局長)
 小林 綾子 (事務局員)

第 61 回日本栄養改善学会に参加しました

と き 平成 26 年 8 月 21 日・22 日
 ところ パシフィコ横浜展示ホール
 内 容 ・山梨県郷土食、県産品の紹介
 山梨県栄養士会活動の紹介等のパネル展示
 協力者 田草川憲男 (会長)
 平井美樹夫 (副会長)
 深澤 幸子 (副会長)
 依田 萬代 (研究教育事業部長)
 山本 聖子 (事務局長)
 小林 綾子 (事務局員)



特定保健指導スキルアップ研修会を開催しました

と き 平成 26 年 8 月 30 日 (土)
 ところ 山梨学院短期大学 45 号館
 内 容 講義およびロールプレイング
 講師 ベネフィットワン・ヘルス
 ケア 管理栄養士
 上垣内 先生



食の安全・安心食育セミナーに協力しました

と き 平成 26 年 9 月 10 日 (水)
 ところ かいてらす 3 階 大ホール
 内 容 講演
 「食品の表示と食の安全について
 ～新たな食品表示法の動向と
 最近の食品安全問題～」

講師 (一社)
FOOD COMMUNICATION COMPASS
事務局長 森田 満樹 先生
優良活動表彰、優良活動事例発表

協力者 田草川憲男 (会長)
山本 聖子 (事務局長)
小林 綾子 (事務局員)

いきいき山梨ねりんピックでの取り組み

と き 平成 26 年 9 月 27 日 (土)
ところ 小瀬スポーツ公園
内 容 1. 塩分 1.2% 味噌汁、0.8% 味噌汁の試飲及び「食塩摂取に関するアンケート」の実施による減塩指導
2. 料理カードによる食事診断と、食事バランスガイドに基づく食生活相談

協力者 田草川憲男 (会長)
深澤 幸子 (副会長)
平井美樹夫 (副会長)
向山由貴子 (学校健康教育事業部)
佐藤 悦子 (公衆衛生事業部)
櫻林ひかる (研究教育事業部)
橋住 輝幸 (勤労者支援事業部)
芦沢 恵介 (地域活動事業部)
飯沼 一美 (医療事業部)
小泉 和子 (福祉事業部)
山梨学院大学健康栄養学部
学生ボランティア計 6 名
山本 聖子 (事務局長)
小林 綾子 (事務局員)



がんフォーラムでの栄養相談の取り組み

と き 平成 26 年 10 月 5 日 (日)
ところ 県立図書館
内 容 来場者への栄養相談
協力者 平井美樹夫 (副会長)
小林 貴子 (医療事業部)
田中 雪江 (医療事業部)

荒川 京子 (医療事業部)
佐藤 秀子 (医療事業部)
町田 真実 (医療事業部)
末木 紀江 (医療事業部)
石川 綾美 (医療事業部)



山梨県民歯科保健のつどいでの取り組み

と き 平成 26 年 10 月 26 日 (日)
ところ アイメッセ山梨
内 容 来場者への栄養相談及びエプロンシアター

協力者 田草川憲男 (会長)
深澤 幸子 (副会長)
平井美樹夫 (副会長)
廣瀬 真美 (事業部長)
萩原久美子 (学校健康教育事業部)
窪島 愛華 (研究教育事業部)
橋住 輝幸 (勤労者支援事業部)
沢登 京子 (地域活動事業部)
堀川 清美 (地域活動事業部)
荒川 京子 (医療事業部)
小林めぐみ (福祉事業部)
山梨学院大学健康栄養学部
学生ボランティア計 3 名
山本 聖子 (事務局長)
小林 綾子 (事務局員)

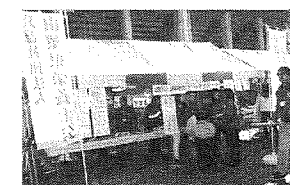
県民の日記念行事での栄養相談の取り組み

と き 平成 26 年 11 月 15 日 (土)
16 日 (日)
ところ 小瀬スポーツ公園
内 容 1. 塩分 1.2% 味噌汁、0.8% 味噌汁の試飲及び「食塩摂取に関するアンケート」の実施による減塩指導
2. 料理カードによる食事診断と、食事バランスガイドに基づく食生活相談

協力者 < 16 日 >
田草川憲男 (会長)
深澤 幸子 (副会長)

平井美樹夫 (副会長)
上杉まゆみ (学校健康教育事業部)
山下ますみ (公衆衛生事業部)
織田 鮎美 (研究教育事業部)
橋住 輝幸 (勤労者支援事業部)
堀川 清美 (地域活動事業部)
小林 貴子 (医療事業部)
高橋 夏美 (福祉事業部)
山梨学院大学健康栄養学部
学生ボランティア 4 名
山本 聖子 (事務局長)
小林 綾子 (事務局員)
< 17 日 >

田草川憲男 (会長)
深澤 幸子 (副会長)
平井美樹夫 (副会長)
外川 泉 (学校健康教育事業部)
新海みちる (公衆衛生事業部)
関戸 元恵 (研究教育事業部)
長田 文江 (地域活動事業部)
田中 雪江 (医療事業部)
若狭 綾子 (福祉事業部)
山梨学院大学健康栄養学部
学生ボランティア 4 名
山本 聖子 (事務局長)
小林 綾子 (事務局員)



メタボリックシンドローム予防のための健康セミナーを開催しました

と き 平成 26 年 11 月 22 日 (土)
ところ ぴゅあ総合
内 容 講演 1
「糖尿病の診断と新しい治療法を考える」
講師 女子栄養大学栄養学部
教授 田中 明 先生
講演 2
「特定保健用食品とエビデンス
～カテキン・クロロゲン酸類を例にして～」
講師 花王 (株) ヘルスカ食品研究所

主任研究員 吉本弥生先生
講演 3
「3 ランクアップさせる栄養士のコミュニケーション力
～『食コーチング』の視点から～」
講師 食コーチングプログラムス主宰
管理栄養士 影山なお子先生

協力者 田草川憲男 (会長)
平井美樹夫 (副会長)
羽中田 睦 (学校健康教育事業部)
保坂 望 (公衆衛生事業部)
辻 敏子 (研究教育事業部)
伊藤 貴子 (勤労者支援事業部)
沼倉智華子 (地域活動事業部)
荒川 元喜 (医療事業部)
田村 礼江 (福祉事業部)
山本 聖子 (事務局長)

健やか山梨 21 推進大会に参加しました

と き 平成 26 年 11 月 29 日 (土)
ところ 山梨県立文学館
内 容 1. 式典
健康づくり活動状況発表
健康づくり表彰
2. 講演
「脳卒中予防の大切なポイント」
講師 山梨大学医学部 脳神経外科学講座 教授
木内 博之 先生

県栄養管理研修会を実施いたしました

と き 平成 26 年 12 月 21 日 (日)
ところ 山梨学院大学
内 容 講演
「日本人の食事摂取基準 (2015 年版) の改定ポイントを理解する～栄養疫学の基礎知識が鍵である～」
講師 東京大学大学院
教授 佐々木 敏 先生
情報提供
「山梨県における栄養改善事業の動向について」
山梨県福祉保健部健康増進課
管理栄養士 藤原 瑞穂

出前栄養相談事業

児童館での取り組み

訪問した児童館 19カ所

協力会員 地域活動事業部員 各2名ずつ

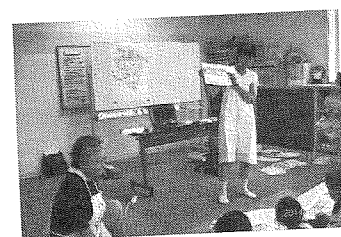
内 容 エプロンシアター、野菜のイラスト
等を使用したゲームによる食育

小規模事業所への訪問栄養指導

訪問した事業所 10カ所

協力会員 栄養士会会員 各2名ずつ

内 容 事業所職員に対する栄養相談



市町村行政管理栄養士配置に関する陳情を実施いたしました

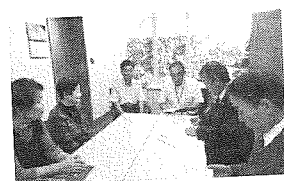
*住民の要望や社会情勢の変化に対応し、市町村における健康増進等の対策をより充実し効果をあげるために、保健・介護・国保・福祉部門に管理栄養士を正規職員として配置していただくため、実施している活動です。

実施日時 平成26年9月26日(金)
9時30分～

対象市町村名 市川三郷町
市町村対応者 町長・総務課長・いきいき健康課長

陳情者名 田草川憲男(栄養士会会長)
村松悦子(食改会長)
食改地区役員3名
山本聖子(事務局長)

陳情結果 ・町民の健康づくり推進のために検討したい。



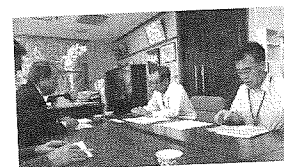
実施日時 平成26年9月26日(金)
11時30分～

対象市町村名 身延町
市町村対応者 町長・総務課長・福祉保健課長
陳情者名 田草川憲男(栄養士会会長)

川口まつゑ(食改会長)

山本聖子(事務局長)

陳情結果 ・生活習慣病予防のためまた、
すべての世代の健康づくりの
ために検討する。



実施日時 平成26年9月29日(月)
15時00分～

対象市町村名 富士川町
市町村対応者 総務課長・福祉保健課長
陳情者名 田草川憲男(栄養士会会長)

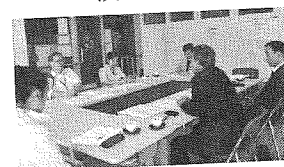
深澤幸子(副会長)

望月仁美(食改会長)

山本聖子(事務局長)

陳情結果 ・必要性を感じている。早い時期
に検討したい。

※町長とは他イベント時に依
頼している。



実施日時 平成26年10月1日(水)
15時30分～

対象市町村名 中央市
市町村対応者 市長・総務課長・健康推進課長
陳情者名 田草川憲男(栄養士会会長)
山本聖子(事務局長)

陳情結果 ・行政管理栄養士の配置の必要
性は感じている。
今年度、子育て支援課に管理
栄養士を配置した。
早い時期に保健部門にも配置
の検討をしたい。



※上記以外の未配置町村には、文書にて要望依
頼をいたしました。

厚生労働大臣表彰受賞おめでとうございます

厚生労働大臣表彰を受賞して

社会福祉法人翔栄会あかさか 渡邊 富雄

平成26年8月23日、神奈川県立保健福祉大学で開催された全国栄養改善大会の席上に於いて、栄えある厚生労働大臣表彰をいただきました。

これも偏に山梨県栄養士会・関係機関・先輩同僚諸兄よりご支援をいただいた賜物と心より感謝お礼申し上げます。

昭和45年より栄養士としてスタートし、医療・福祉施設にて現在迄勤めて参りました。

その間、其々の職場にて栄養士業務をはじめ、多くの事を学ばされ経験させていただきました。

又、年を重ねてくると、組織の中では自ずと後輩への教育指導をしなければいけない立場となり、栄養管理(主に臨床)・給食管理は基より、ここの職場で勤務するからには国家試験(管理栄養士)にどこでも挑戦しなければいけないというムードづくりをする事に尽力しました。

その結果、お蔭様で11名の部下・後輩が合格してくれました。

合格しましたと報告を受ける度に私自身が合格した時よりも、何十倍も嬉しく思えた事が、未だ鮮明に記憶として残っています。(栄養士人生の中で私にとって一番のプチ自慢～?です。)

昭和62年9月、当時勤務しておりました(医)石和温泉病院にて山梨県初の優良集団給食施設として厚生大臣表彰を受賞致しました。

この賞をいただくにあたり、当時、石和保健所に勤務されておりました現名誉会長石坂先生の並々ならぬご尽力を戴き、又、現本会会長田草川先生並びに当時の行政栄養士の皆様にも大変御足労戴いた事により、受賞出来たものと感謝しているところです。

受賞式は、北海道札幌厚生年金会館で行われ、施設の代表として当時の調理主任同行にて出席致しました。私にとって生まれ育った地での受賞式に臨む事ができ、大変嬉しく思いましたし又、誇りに思っているところです。

現在、福祉事業部に所属しておりますが、複数の栄養士がいる医療施設とは異なり、福祉施設のほとんどが一人職場です。それ故、個々のスキル・能力・引き出しの多少が試される職場であると思います。その事を自覚しつつ今回の受賞に恥じない様に業務に励み、又、栄養士会・若い会員の皆さん・現在お世話になっている法人組織の為に多少なりとも、お力になれるようにこれからも精進したいと思います。



山梨県知事表彰受賞おめでとうございます

栄養改善功労者知事表彰

県知事表彰を受賞して

地域活動事業部 秋山 めぐみ

この度、栄養改善功労者として知事表彰をいただき、身に余る思いです。ご推薦いただいた峡北保健所関係者の皆様、県栄養士会ははじめ、多くの皆様に心より感謝申し上げます。

「今日はどこに行くの？」そんな言葉を耳にしながら仕事を続けて二〇年余り。大学卒業後栄養士として勤務するも結婚を機に退職し、寺務に関わりながら少しずつ栄養士の仕事を再開し現在に至りました。乳幼児から成人、高齢者まで各ステージの方に対し、行政機関、診療所、事業者などで面談や教室、セミナーなど、出かける先はさまざまに日々奮闘しています。在宅栄養士の私は、一つの仕事がある中で評価されるという危機感にも似た不安も多く、手探りの中、沢山の先輩の力を借り、県内外の仲間に支えられ、関係する皆様に背中を押され育てていただいたことが今日に繋がったと、この場を借りて深謝いたします。

事業部や支部では栄養士の仲間づくり、横の繋がりの大切さを感じ、特定健診施行時にはロールプレイング等スキルアップを、震災後には、屋外でサバイバル訓練など仲間なしでは成し得ない体験をし、栄養士同志の情報交換、共有もスキルアップの糧となることを実感しました。寺務との両立が困難なことも多々ありましたが、栄養士を続けてよかった！と感じる今、これからも人の痛みを感じ、寄り添い、励ますことのできる栄養士として精進していききたいと思います。

— 栄養改善功労者知事表彰をいただいて —

赤坂台病院 田中 優美子

「健やか山梨 21 推進大会」が 11 月 29 日、県立文学館にて開催され、栄養改善功労者として知事表彰を頂きました。ご推薦を頂いた、山梨県栄養士会及び多くの関係各位の皆様方に心より感謝申し上げます。

振り返ると 44 年間病院栄養士として仕事を続けられたのは、多くの方々の支えがあったからだと思っています。諸先輩方を手本に又、前向きに頑張っている栄養士の仲間達のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。平成 17 年 4 月、日本医療機能評価機構認定証取得を期に、私の中でひとつの思いが生まれました。それは、「おいしい食事の提供で、食事を楽しみにして頂きたい。」「病院の食事風景を変えてみたい。」そんな気持ちから、バイキング給食の実施をはじめました。現在も年 4 回の四季のバイキングで楽しんで頂いています。又、全職員参加で手作りのアットホームな“秋まつり”が誕生しました。もちろん露店は栄養科スタッフによる手作りのものです。入院患者様と

そのご家族又、地域の方々の参加も大歓迎しています。今年、第 7 回目を迎えることが出来ました。中北支部活動においては、他の職域の栄養士の方々と知り合い、広く地域の人達に目を向ける機会を頂き、職域部会においては、専門職種としての知識向上の為の研修会への参加等、栄養士の役割の広さと重要性を学ぶ事が出来ました。この賞を糧に、社会に役立つ栄養士として励んでいく所存です。微力ながら栄養士会に貢献出来たらと思っています。

知事表彰をいただいて

回生堂病院 佐藤 秀子

この度は、栄養改善功労者として過分な賞を頂き誠に有難うございました。ご推薦を頂いた富士東部保健所の方々はじめ、栄養士会の方々、職場の皆様のおかげと深く感謝申し上げます。子供の頃の記憶に、小学生の私が、給食係をして栄養士のボードに食品名を写し説明している姿をよく思い出します。私のいた小学校は生徒が 700 人程いましたので、給食施設があり栄養士さんも常勤でおりました。

その時の出会いが、栄養士という職業を知る、きっかけとなり、原点となった様に思います。短大を卒業した頃の管理栄養士は、手の届かない夢のような存在でした。精神科の病院に務めて 7 年、先輩の栄養士さんの熱い励ましのおかげで、私は管理栄養士試験に挑戦できました。2 年ほど家庭に入りましたが、資格を生かしたいと給食委託会社に入り、一般病院で 7 年、さらに元の病院に戻り、今日まで 17 年間務めさせて頂きました。最初のころは、長期入院患者様に家庭の味を、治療食にもおいしい食事をと、励んでいました。

時とともに、集団から個への栄養管理が中心となり、給食が委託され、仕事は病棟中心となっていきました。精神科での肥満改善にとベストウエイト教室の実施、増加する認知症や高齢者には咀嚼嚥下困難食を提供し、摂食障害や、合併症を抱えた患者様の栄養指導、栄養管理と、試行錯誤しながら頑張ってきました。一人職種でしたから、栄養士会の生涯教育や部会の研修会、同じ悩みを持つ栄養士の仲間が、私の師であり、患者様の笑顔が支えとなりました。

管理栄養士としては、まだ道半ば、これからも皆様のお役に立ちたいと願っております。この賞を励みに、より一層精進してまいります。皆様の変わらぬご指導ご鞭撻を宜しくお願いいたします。



特定給食施設表彰

特定給食施設表彰を受賞して

社会福祉法人 山梨檜の会
介護老人保健施設 甲府相川ケアセンター
管理栄養士 堀口 一美

このたびは、特定給食施設表彰の受賞に際し、給食の管理運営において、評価いただきました事この上なく光栄に存じます。本施設の諸先輩方の築かれたしっかりとした給食運営の基盤と、委託（メフォス）職員方々の多大なご尽力があってこそが、今回の受賞に結びついたと感謝しております。又受賞に際しまして、ご指導いただきました、関係者各位に御礼申し上げます。

介護保険施設は、H18 年より、栄養ケアマネジメントが始まり、給食業務（集団給食の円滑な運営）と栄養マネジメント業務（個々人に最適な栄養ケア）と業務内容も多様化し、特に、栄養ケアには、高度な技術も必要とされます。自己研鑽に努めながら日々仕事に従事致しております。

今後も特定給食施設運営におきまして、円滑な運営、喫食者の栄養管理、衛生管理等、さらに精進していききたいと思います。

特定給食施設知事表彰をいただいて

山梨県立中央病院 窪寺 ゆかり

平成 26 年 11 月 29 日、県民文学館において行われた「すこやか山梨 21 推進大会」において、山梨県立中央病院が特定給食施設知事表彰をいただきました。推薦していただきました関係各位の皆様方には心より御礼申し上げます。

県立中央病院は、昭和 45 年に現在の富士見に移転、給食を開始してから今年で 43 年目となります。時代の流れと共に変化し、平成 17 年より委託給食開始となり、現在はシダックスフードサービス株式会社と共に毎日頑張っています。病院給食を円滑に進めるためには病院側と委託側が、信頼関係を保ち協力しなければなりません。お互いに意見を出し合い今後も安心安全な給食を提供していききたいと思います。

また、平成 22 年からは地方独立行政法人県立病院機構と体制が変わりました。県立中央病院として他の模範となれるよう、また県民の健康増進のために頑張っていきたいと考えています。

「特定給食施設表彰を受賞して」

鳴沢保育所 三浦ちせ

この度、平成 26 年 11 月 29 日の健やか山梨 21 推進大会において、「特定給食施設」として知事表彰を受賞いたしました。数ある特定給食施設の中から受賞したことで、職員一同とても励みになっております。身に余る受賞ですが推薦して下さった方々に感謝申し上げます。

当園では〈楽しく食べて元気な子〉をテーマに食育指導計画に基づいた給食、食育など行っています。栄養士が行政との兼任ですが調理師 2 名と共に村の特産物を取り入れた給食づくり、衛生管理を行い日々の給食を提供しています。地域住民と一緒に野菜の種まきから収穫などの体験をし、収穫した野菜を給食やおやつ、年長クッキング教室に取り入れています。平成 25 年度保育所食事調査によると朝食の欠食率は 0%で、保育所に入っている好き嫌いがなくなったなどの結果がでています。これは保育所職員や食生活改善推進員、地域の方などの食育の成果の現れと考えます。特定給食施設は栄養士だけでなく他職種の連携により成り立っています。

この受賞を励みに、今後も安全で安心なおいしい給食の提供及び栄養管理に努めていきたいと思っています。

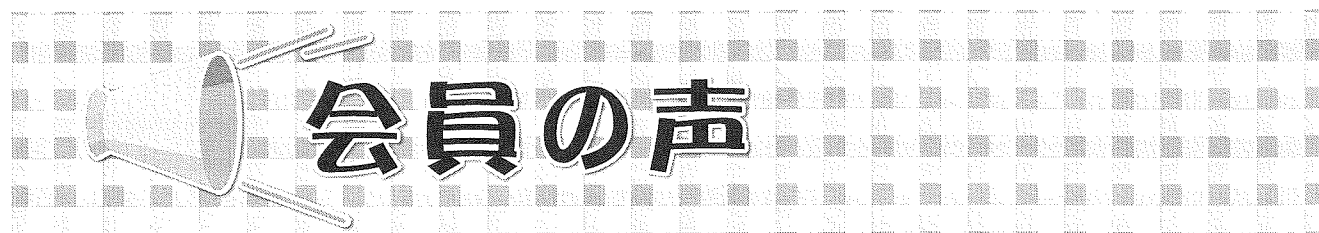


日本栄養士会会長表彰受賞おめでとうございます

受賞者

と き 平成 26 年 8 月 23 日（土）
ところ 神奈川県立保健福祉大学

雨宮 洋美 福祉事業部 山梨クリナース



出産後、仕事復帰して

研究教育事業部

山梨学院短期大学食物栄養科 山梨学院小学校・幼稚園 佐野 英子

第一子を出産し、今年9月に1歳になると同時に仕事に復帰いたしました。

現在の職場で、栄養士、管理栄養士を目指す学生への指導と、子ども達への給食提供の職務に就かせていただいて約10年間、仕事中心の生活で邁進してまいりましたが、今回の出産による産休・育休で約1年の休暇をいただき、家族とじっくり関わる時間をつくることができました。

出産、育児は想像以上に体力を消耗し、決して楽なものではありませんでした。しかし、自分の体が自分のものだけではないという状態に生命の神秘を感じたり、責任感をもたせてくれるものでした。その中で、改めて食事の大切さと、食事を提供することの大変さに気付きました。そして、行政の栄養士の先生などから乳児の食について情報をいただいたり、離乳食教室をやっていただけることがとてもありがたく思いました。

仕事に復帰した今、以前よりも増して子どもたちが愛おしく、1人1人が尊い存在だと感じます。食の仕事に関わる立場として、子どもたちの「今」と「未来」が良くなるお手伝いをさせていただき、学生には、この仕事の魅力が伝えられるよう、今後も努めていきたいと思います。

峡東地域の栄養士会・・・？！

医療事業部

一宮温泉病院 内田留美子

正式名称は『病院栄養管理業務検討会』と云います。峡東保健所の主催で3年前、国および県からの施策の周知や情報提供をしていただいたり、病院栄養管理業務の向上や施設間のネットワークを図る事を目的とすることでした。

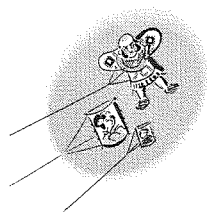
年間4回、持ち回りで当番を決め開催されます。

私は施設1人の管理栄養士でもあるため、たくさんの課題や悩みなどは一人で考え、不安を常に感じていました。しかし、このような場を提供していただいたことにより、近隣の病院栄養士さんとの交流も深まり、病院栄養士としての悩みや他院ではどのように対応しているかなどの情報交換を行う場であったり、その時の旬の話題について一緒に勉強会をしたりと、私にとっては大変有難い場所となっています。

また、他院と当院の違いなども話し合えるので、当院に遭った対策もすぐに見いだせる事にも繋がっています。

地震大国・火山大国と云われ、また天災による被害も耳にする事が多くなっている気がします。

患者さんや地域の方達の救いの場に成る為にも、近隣の病院や施設との交流や助け合いが必要となると思っています。私は勝手に『峡東地区の栄養士会』と表現していますが、今後ともお互いに支え合える場である事を期待すると共に、この機会を作っていただいた保健所の皆様に感謝を伝えたいと思います。



ひのえうまとひつじ

公衆衛生事業部 渡邊 公江

私は早生まれの未年なので、大体いつもその前の年の干支と勘違いされます。

その前の年は当然午年ですが、これがただの午年ではなく出生率等のグラフでは極端に凹んでいて注釈がつき、「この年生まれの女性は気性が荒く、男性の寿命を縮める」という伝説まで存在し忌み嫌われたという、丙午です。

でも本当の干支は未なのだから、そんなに気にしなくても良いのでは？と思われるかもしれませんが、子どもの頃から特に祖父・祖母世代の方たちとその類の話になった時の会話にはパターンが存在して、相手「丙午？」

私「学年はその年回りですが、早生まれなので干支は未年です。」

相手「そうけえ？でも生まれは丙午じゃなくても、丙午の年には（胎児として）お腹の中に存在してただから丙午の血ずら。」

大体このような話になり、同学年の間でも丙午生まれと未生まれで同じような会話が繰り返され、結局は同じ血が流れているということで話がおさまります。

ですから、本人たちは気にしていなくても周りが放っておいてくれない環境だったのです。

年齢を重ねてみて、干支の話でここまで盛り上げられるのは、丙午の特権かもしれないと思うようになりました。

丙午の女は強い。

せっかく強く生まれたのだから、これからも逞しく生きていきたいと思います。

福祉事業部

和泉愛児園 水谷 佳代

私は子どもの頃からご飯を食べるのも作るのも好きで、よく母や祖母が料理をしている姿を見ていました。野菜を「トントントン」と早く切るところを見ては、「なんでそんなに早く切れるのー！？」と驚いていたのを覚えています。そしていつからか、料理が上手になりたいと思うようになりました。

そんな中、私が高校生の時に祖母が病気になり、食欲が落ちて食事をとることが難しくなっていました。私はだんだん痩せていく祖母の姿をみているのが辛く、何か助けになりたいと考え、思いついたのが「できるだけ栄養がたくさん摂れる食事を作ってあげたい」ということです。その時に私は栄養士になることを決めました。そして、母や祖母のように、おいしいご飯を家族に作れるようになりたいと思いました。

食事は、毎日の生活に欠かせないものです。保育園の栄養士になって、その食事を作るという責任の重さとやりがいを実感しています。忙しい毎日ですが、充実した日々を送っています。

今思うこと

勤労者支援事業部

(株)NECライブックス 伊藤 貴子

「栄養やまなし」の「年女」としての原稿を依頼されたとき、「え？年女？」と、大学を卒業してからもう25年も経ったのかと自分自身のことながら驚いてしまいました。他の皆さんも同じように感じる方も多いと思いますが、過ぎてしまえばあっという間のように感じています。

大学を卒業後、入社してから今の職場を変わず25年間も働いている私にとって、それは強みでもあり、弱みでもあると感じています。長く働いているので知り尽くしている、だけど何かを変えたら良いかの気づきも少なく、変えることも難しい。厳しい事業環境の中、栄養士業務だけではなく食堂運営・経営まで管理栄養士として求められる内容が増えてきているので、まずは自分を変えていく事を目標に、重い腰を上げ（?!）色々な学びや、遊び（でもよいと思うのです）の場に出て行きさまざまな年代・職域の方々から刺激を受けたいと思います。色々な考え方や意見を聞き、柔軟な頭と心で受け入れ少しでも新しい自分になれるよう努力する一年にしたいと思います。

学校健康教育事業部

学校健康教育部会として

学校健康教育事業部長
上野原市立上野原小学校 大神田志保
学校健康教育部会は部員が 20 人程度の小さな部会です。小さな部会だからこそ、部員同士の顔や勤務先が分かり、様々な相談をしたり献立や教材のアイデアを教えあったりと横のつながりが強い部会です。

学校給食の現場では、給食管理や衛生管理はもちろん、食物アレルギーの対応や大型給食センターの建設、調理委託業者の参入など様々な課題が山積しています。しかし、子どもたちにとって安全でおいしく、よりよい給食の提供ができるよう、日々努力を重ねています。平成 17 年に食育基本法が成立、施行し、さらに食に関する指導の推進に中核的な役割を担う「栄養教諭」制度が創設されました。平成 19 年度には山梨県にも栄養教諭が誕生しました。以来、様々なところで「食育」という言葉を耳にし、食育に対して多くの人が関心を高めています。学校現場においては、平成 26 年 3 月現在、各学校の実態に即した食に関する指導の全体計画は小学校、中学校、特別支援学校で 100%、県立全日

制高校で 71.4%、県立定時制高校で 50.0%作成されています。年間指導計画は小学校、特別支援学級で 100%、中学校で 97.7%、県立全日制高校で 71.4%、県立定時制高校で 50.0%作成されています。しかし、食教育は教科ではないために授業時間の確保が難しいばかりか、いまだに食教育の重要性が十分に認識されていないのが現状です。全教職員が食教育の必要性・重要性を理解し、食育を推進していく必要があります。また、栄養教諭の採用人数が少なく、仲間が増えない事が悩みです。栄養教諭は、子どもが将来にわたって健康に生活していけるよう、栄養や食事のとり方などについて正しい知識に基づいて自ら判断し、食をコントロールしていく「食の自己管理能力」や「望ましい食習慣」を子どもたちに身につけさせるための技術や指導力が必要です。そのために、日々の教育活動の中で様々な立場の教職員と共に栄養教諭が食育のコーディネーターとして連絡調整をし、研究会や授業実践をしたり教材研究をしたりしています。

私たちは、様々な家庭環境、食環境の中にいる子どもたちに「生きる力」を身につけるため、その柱である「知育」「体育」「徳育」のさらに礎となる「食育」を推進していく役割があるのです。

公衆衛生事業部

「低出生体重児に関する取り組み」

公衆衛生事業部長
峡南保健福祉事務所 廣瀬真美
今年度も、H24、H25 に引き続き、山梨県の低出生体重児の出生に関して取り組んでいます。昨年からは、低出生体重児の出生割合の低下に向け取り組むため、福岡教授からアドバイスをいただきながら、保健所と市町村の代表によるプロジェクトチームを設置し、活動しています。山梨県の低出生体重児の出生割合は 10% を上回る状態が続いております。公衆衛生事業部では、本県の低出生体重児の出生状況をふまえたよりよい支援方法を検討することを目指し、平成 24 年度から実態把握や研修会を開催している中で、参加者から成長期の子どもの支援も視野に入れた活動にしたいとの意見が出されました。また、昨年度の実態把握の中で低出生体重児の

出生率の地域差についても把握できました。今年度も、母子保健従事者等を対象に、昨年度に引き続き早稲田大学の福岡教授の最近の知見を交えた講演、及び、参加者によるディスカッションを通して、さらに充実した支援活動に発展させていくことを目的にした研修会を実施しました。低出生体重児の出生割合の低下に関する取り組みは、関係者が一丸となり、妊婦の健やかな胎内環境で胎児が育つよう支援する必要があります。妊産婦のための栄養指針を活用し、正しい食生活の支援など栄養士の果たす役割は大きく、今後も取り組みを充実させていきたいと考えております。また、低出生体重児の出世状況について広く周知していくため、論文にまとめるための勉強会、妊産婦等への支援に関する資料作成にも取り組む予定です。

昨年改正された「行政栄養士業務指針を実践するために、各々が努力を重ねています。

研究教育事業部

全国研究教育職域事業部研修と地域の食文化を課題解決に繋ぐ

研究教育事業部長
山梨学院短期大学 依田 萬代
冬の寒さは今からが本番、会員の皆様におかれましては、ご健勝にて日々のお仕事に励んでいらっしゃると思います。全国研究教育職域事業部研修は 11 月 6 日ウイング横浜にて開催されました。「健康な食事」と題し神奈川県立保健福祉大学学長 中村丁次先生の講演がありました。「健康寿命の延伸と生活習慣病と介護予防」の話があり、概念の整理を行い科学的根拠に基づいた基準とその質を保証する仕組みをつくり、健康維持や疾病予防を促進し関連する健康産業を創出し「健康な食事」を実践しやすい環境の整備を推進することにあります。日本人の健康寿命の延伸を図る目的には、①栄養バランスと美味しさを構成する食材・調理、食べ方・食の場面への配慮②社会に定着するために食料生産・食文化から栄養・健康に至る食をめぐる基本情報の共有③適切な食物に全ての国民がアクセスできる社会的・経済的な条件の整備。安全な食物の生産、安全・安心でできる供給、栄養や食生活に関する教育・指導、国

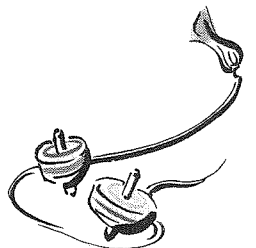
民一人々が確実に実践でき健康とQOLの維持・向上が可能になるよう支援していく事が重要です。今回策定の「日本人の食事摂取基準（2015 年版）」では、健康な個人及び集団に加え特定保健指導の対象となる軽症の生活習慣病有病者その予備軍に対する発症予防、重症化予防も含んだ策定となりました。また、重要なキーワードを上げるとエネルギー産生栄養素バランス、日本はナトリウムが高い、乳製品の多い摂取は生存率が高い、食糧自給率は著しく低いなどの講義でした。次に地域の食に関わる地域貢献に繋がる活動とし地域力アップのためにも必要で一端を上げると山梨県農政部と淡水魚、米粉、北杜市とヤーコン、明野金時芋、紫黒米粉、山梨市と甲斐サーモン、巨峰、南アルプス市とすもも、身延町と曙大豆、ゆば、小菅村とまこもなど産官学連携の基、地域の食材を活用し地域協働教育の推進に努めたいと思っています。結果は第 28 回国民文化祭、第 10 回ヤーコンサミット、栄養改善学会などのイベントでPRし食文化は地域の貴重な文化遺産でありこれからも実践活動を繋げ、さらに研究教育事業部は多職種との連携も深め県民の食生活改善に寄与したいと思っています。

勤労者支援事業部

勤労者支援事業部です。

勤労者支援事業部長
公益財団法人キープ協会 大柴 由紀
山梨県の勤労者支援事業部の栄養士は、主に社員食堂、大学食堂などで活躍しています。全国的には給食会社などに所属している栄養士も多く、実は幅広い給食施設で調理に携わったり、栄養指導にあたったりしています。山梨県だけでなく全国に見ても人数の少ない事業部ではありますが、健康な方にそれを維持するための食事を提供するという共通点があるのではないのでしょうか。

平成 25 ～ 26 年度、山梨県の勤労者支援事業部では「雑穀」に注目し、給食や一般家庭で雑穀の栄養価を利用した料理が手軽に食べられるようになるための研修会を計画しました。株式会社はくばくのご協力により、サンプル提供からサラダやおかずを利用するレシピの紹介をしていただきました。“雑穀エキスパート”の方の講習会により栄養価についての勉強もすることができました。その手軽さを実感していただけたならば、それが実際の給食に登場したり、広くご家庭でも利用されるようになれば幸いです。



地域活動事業部

地域活動事業部の活動・研修状況

地域活動事業部長 沢登 京子
県の「健やか山梨 21」の推進協力、「栄養・食生活」部門の普及啓発活動を中心に、県民の健康づくりに寄与することを基本方針に活動しています。地域活動事業部の定義は、地域住民を対象に自営又は非常勤で栄養改善指導を行う栄養士・管理栄養士や、他の職域事業部に所属しない者を以って組織し、栄養指導専門職としての知識・技術の向上に関する事業や、基本方針達成に必要な事業を行う。公益活動としては、出前栄養相談・小規模事業所栄養相談、児童館や甲府市街なかサロン食育事業などが主なるものです。

部会員の日常活動や栄養業務関係の仕事も多岐にわたっております。主な栄養業務は、行政や社会福祉協議会の仕事が多いです。乳児健診、健康診断後の栄養相談、健康教室や調理実習、開業医院や健診機関での栄養相談などを行っている者大

勢います。

最近が開業栄養士として料理教室や栄養指導業務、製品開発事業などに携わっている人もいます。又、栄養ケアステーションからの特定保健指導も増えてきています。数年前から“在宅訪問管理栄養士”として、対象者の家庭を訪問、栄養調理指導を介護者やヘルパーさん達にする仕事も増えてい、専門職としての知識や調理技術、新情報の習得が更に必要とされてきている事を痛感しております。

部会としての今年度の3回の研修は、調理技術の向上、減塩、脂肪、食物繊維等をテーマの調理講習会です。1回目は減塩、食事バランスガイド確認、2回目は“簡単に出来る介護食”3回目は“地産地消、保存方法と利用調理”です。毎回各種研修会(県外含む)から得た情報も提供し合っております。社会情勢を把握しながら、地域社会で期待される栄養士を目指して、会員皆でレベルアップしていきます。

医療事業部

医療事業部 26 年度スローガン 病院から在宅までシームレスな栄養管理・ 栄養指導を目指そう

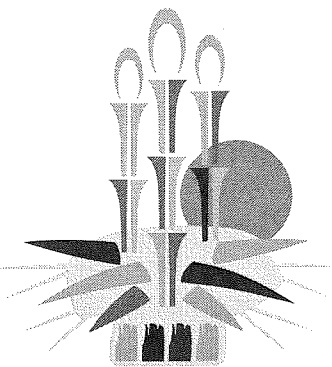
医療事業部長 山梨大学医学部 小林 貴子
本年度の医療事業部は、年度初めに「新しい生涯教育制度」「糖尿病患者さんへの楽しい食事サポート」の研修会を行いました。この研修を通し、新しい生涯教育制度の目的が、病院に勤める管理栄養士・栄養士として患者・家族のために役立つ能力を身につけること、また自己研鑽を積み「知識・技術・論理の面で信頼できる専門職である」との社会的評価を得ることだと学びました。実際に各生涯教育研修会の講師をしていただきました、吉田貞夫先生・鈴木吉知先生・平井愛山先生との意見交換会を行い、褥瘡・肝臓病・糖尿病透析予防に関する重症化防止のため切れ目のない栄養管理を行うには、生涯教育制度を活用し、役立つ能力を身につけることが必須であると痛感しました。

10月5日には、昨年に引き続き山梨県栄養士会への依頼をいただき、がんフォーラム山梨主催の第8回がんフォーラム・メディカルサミット「充実したがん療養生活のために 2014」への協力事業を行いました。主な実施内容は、「困ったとき

の調理の工夫」「免疫大丈夫か、食事診断」「塩分摂りすぎてない？アンケート」です。料理カードが目を引き、大勢の方に栄養について興味をもっていただきました。12月のチャリティーコンサートにもブース出展し協力していきます。

平成 27 年 1 月 31 日には、「災害時における病院給食の対応」「COPD(慢性閉塞性肺疾患)の栄養管理」について研修会を予定しています。2月の大雪では、食材の確保など苦慮された施設も多かったことと思います。この機会に災害時の対応策を学び、今後に備えていきたいと思います。

医療事業部では、年間を通して会員の知識向上を図り病院から在宅までシームレス(切れ目のない)な栄養管理・栄養指導を目指し、各職域事業部の皆様とも連携していきたいと考えています。



福祉事業部

“仲間と一緒にスキルアップ！”

福祉事業部(高齢・障害)

介護老人福祉施設 コスモ 守屋喜久代
今年度は役員改正で、新役員さんを迎えスタートしました。福祉施設では、利用者さんのQOLの維持向上を目指し、適切な栄養管理を基本に多職種協働による栄養ケアマネジメントが必要とされています。

今年度は、会員の皆様からの要望の多かった内容について研修や参加勧奨を行っています。

5月15日に(公社)日本栄養士会福祉事業部 政安静子理事を講師に「ICFに基づく栄養ケアマネジメント」についての研修と事例検討を行いました。身体機能だけでなく、社会参加や活動を視野に入れたICFの考えは、栄養ケアの基本でした。また、問題志向型から目的志向型にポジティブにアセスメントする事も学びました。グループでの事例検討は、意見交換が活発にされました。県外からの参加者もあり、県の枠を超えた研修になりました。

活動報告

福祉事業部(児童)

市川三郷町立三珠保育所 土橋きく江
今年度の活動は、保育所に通う子どもたちが旬の食品をおいしく、楽しく食することができるよう、栄養士としての資質向上を目指し研修会を実施しています。

・6月14日 総会及び研修会

「プロから学ぶ食育実践」

中華料理専門シェフ 堀ノ内公太氏

「保育園における減塩の取り組み」

石和第3保育所栄養士 河本圭子氏

シェフからは、食を提供するプロとしてのおもてなしの心や、みごとな包丁さばきを見せていただきました。また、事例発表では参考になることがたくさんありました。

10月24日(公社)神奈川県栄養士会福祉事業部長・片平長寿の里 竹田すずよ管理栄養士を講師に「摂食・嚥下機能に配慮した食事とその対応～管理栄養士、栄養士の役割として～」について研修しました。日頃の業務の中で食事形態に疑問を持ち、利用者さんの機能に添った形態を導入した実践的な内容でした。日清オイリオ(株)折原研究員より、物性の計測方法も研修しました。ポイントは、かたさ・付着性・凝集性でした。

来年度から日本人の食事摂取基準2015年版に移行します。(公社)日本栄養士会福祉事業部専門研修の中堅者研修Ⅰでは、講師に策定検討会構成員の佐々木敏先生を迎え、技術を身に付ける演習も行っています。理解して扱うことはとても難しいですが私達のバイブルです。しっかり身に付けたいと再認識しました。専門研修ではスキルアップを目指した研修を幅広く行ない、会員が参加しています。

栄養ケアは多岐にわたりますが、会員の皆様と共にハートを持ち利用者さんの期待に応えられるよう頑張っています！

・8月30日

「保育所における栄養管理の基本」

富士東部保健福祉事務所

健康支援課 課長 相原恵子氏

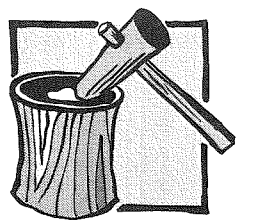
「目で見える衛生管理」

山梨県児童福祉施設栄養士会委員

グループ討議

日々の業務を再確認するとともに、グループ討議を行い、悩んでいること、困っていることなど気軽に話し合い、会員同士の交流の機会にもなりました。

今後とも会員の親睦を深めつつ、県栄養士会の研修に児童からも積極的に参加し、自身のスキルアップを目指していきたいと思っています。



こんにちは

～給食委託会社勤務の会員から～

富士メディカルサービス株式会社

千野香奈子

富士メディカルサービス株式会社は、安全衛生を第一にお客様に喜ばれるサービスを常に考え、人を愛し、仕事を愛し、明るく元気な会社を目指します。コスト意識を持ち、働きやすい職場を作ります。を会社理念としています。

私は、パートとして働き始め、8年目になります。子育てしながら働くのは、3食毎日ずっと提供するこの業務では難しいと思っていましたが、周りの方々に恵まれていたおかげもあり、続けていくことができました。現在は、特別養護老人ホームと障害者支援施設の2ヶ所を担当させていただいています。特別養護老人ホームでは、施設栄養士の先生から献立を頂き、発注や衛生管理などを担当しています。利用者様との関わりはあまりないので、先生や施設の方々から情報を頂き、それぞれの状態に応じた形態で食事を提供させていただいています。障害者支援施設では献立から関わらせていただき、平

日はセレクトメニュー、月ごとに行事食を取り入れ、喜んでいただいているかと思います。こちらの施設では、厨房から食堂が見えるので、利用者様の反応がすぐに見えてきます。うれしいことも多くありますが、不満なども聞こえてくるので悩むこともよくあります。全てではありませんが、早めに改善し、少しでも喜んでもらえるものを提供できるよう心がけています。

第28回の管理栄養士試験で合格することができたこともあり、栄養管理の分野にも興味が出てきました。現在の業務では、直接関わらない分野の為、わからないことだらけですが、生涯学習研修会では、様々な分野の講義を聴けるので、とても楽しく、スキルアップにつなげていけたらと思っています。これからの目標はまだ定まっていませんが、どこでも対応できる能力を身につけ、利用者様に喜んでもらえる、適切なサポートのできる栄養士を目指していきたいと思っています。

(株)レパスト

小林 大祐

食事には、人と人との心を触れ合わせる不思議な力があります。

心を込めて料理をすれば、食事は人の心を癒し、人を幸せな気持ちにする事ができると信じます。

暖かな気持ちで一生懸命に調理をしたい、お客様の心と身体の豊かさに少しでもお役にたきたい、それがレパストの願いであり、それをレパストは信じています。

私は、栄養士として働き始めて三年が過ぎました。

以前は、短大を卒業してから訪問介護の現場で仕事をしていたのですが、介護職を経験するなかで、やはり栄養士の職に就きたく転職をして、現在の勤務先である医療福祉施設で働くようになりました。医療福祉施設ではありますが、多数の施設に食事を提供するために中央配

膳給食の特徴を持っている施設です。

医療施設の病院食、福祉施設である老人介護施設、福祉保護施設、そして支援学校がありそれぞれの施設ごとご利用者の食事形態が異なり、ご利用者に合わせて365日、三食休みなく食事を提供していますから、調理作業が複雑で、調理に気を使うために毎日が忙しい現場です。

しかし、ご利用者の「おいしかった、ありがとう、明日もまたお願いします」の一言が励みとなり元気がでますから、安心して安全な食事提供をこころがけた仕事に頑張れます。

新入職員の指導を任せられるようになり、責任のある立場にもなりました。

今は、一日も早く新入職員が給食現場の戦力になれるよう、日々の指導を重ねることはもちろん、私自身も全職員と協力をし、委託先の施設職員の方々と力を合わせて、適切な食事の提供を行うよう努めてまいります。

JDA-DAT

日本栄養士会災害支援チームについて

日本栄養士会 JDA-DAT運営委員 深澤 幸子

JDA-DAT設立の経緯

被災地での支援活動の中で、私たちが得た1つの答えは「災害発生時に、管理栄養士・栄養士には大きな役割がある」と言う事でした。

しかし、個々の力では成しえない事があまりに多く、災害・緊急時に専門的支援を実行できる組織の必要性を感じたのです。

管理栄養士・栄養士はもとより、国や都道府県、保健医療機関、医師や看護師などの専門職種の方々と協力して支援活動が出来る組織として、日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT・・The Japan Dietetic Association - Disaster Assistance Team)が平成24年1月に発足しました。

JDA-DATの概要

JDA-DATとは「災害発生地域において栄養に関する支援活動ができる専門的トレーニングを受けた栄養支援チーム」として、国内外で大規模災害が発生した地域において、避難所、施設、自宅、仮設住宅などで被災者(特に要援護者)に対する栄養に関する支援活動ができる専門的なトレーニングを受けたメンバーたちであります。

チームの構成及び活動期間

JDA-DAT1チームの構成は、リーダー1名とスタッフ4名(災害支援管理栄養士2～3名と被災地管理栄養士1名)を基本として構成され、活動期間は概ね72時間以内とし、災害の程度に応じて継続的に派遣する。

JDA-DATの活動が長期にわたる場合はJDA-DATメンバーだけでなく、災害支援ボランティア管理栄養士の派遣により対応する事となる。

これまでの活動内容

東日本大震災において、災害支援ボランティア管理栄養士を募集し、978名が応募(全国及びアメリカ)の中からは派遣者数406名、延べ人員実動1,588名(被災地栄養士会を除く)が被災地で活動をした。

主な活動内容は、栄養と食に関する情報収集・栄養調査協力・被災者(特に要援護者)の栄養管理・栄養相談・避難所及び施設等への人材・物資支援、行政や各機関との調整等の活動が行われました。

今後の取り組み体制

現在、(公社)日本栄養士会としてJDA-DATリーダー240名(山梨県6名)が養成されています。

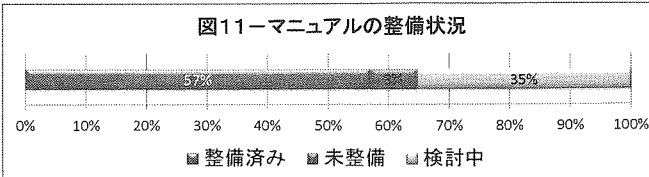
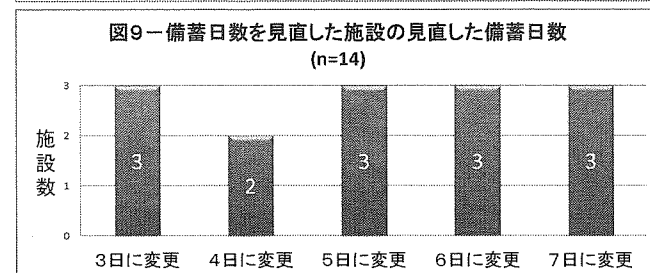
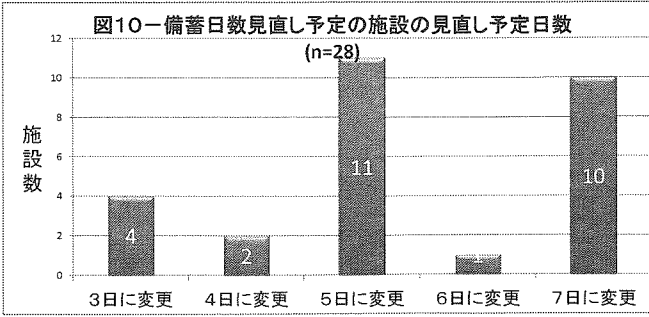
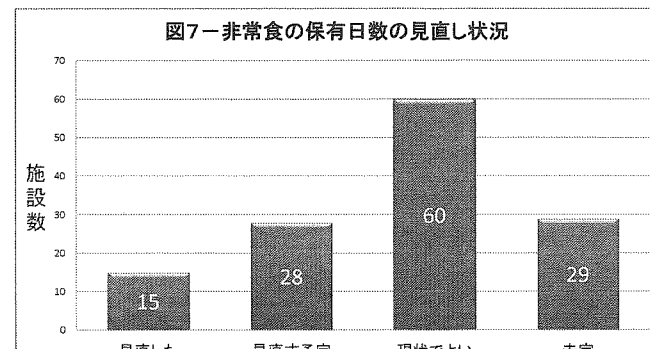
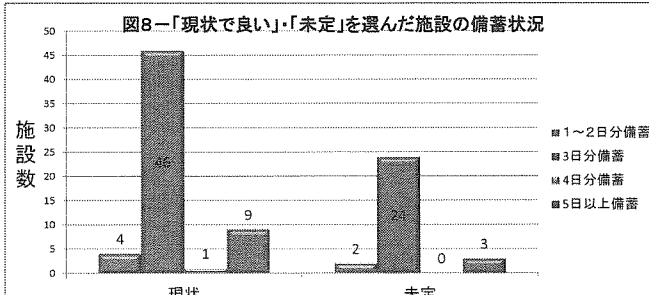
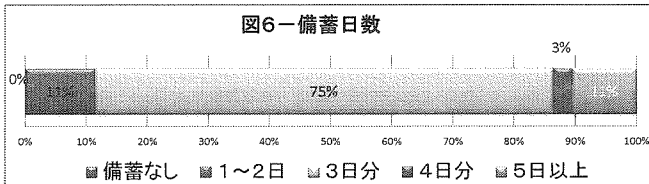
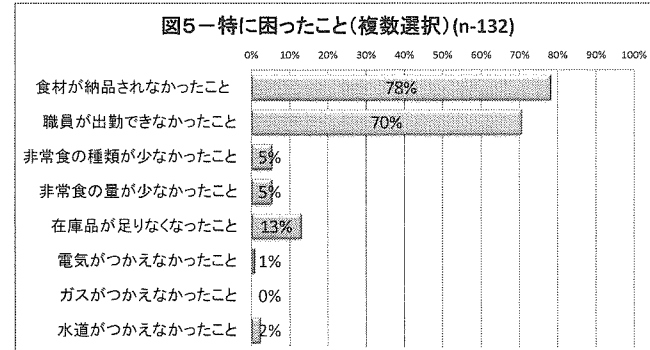
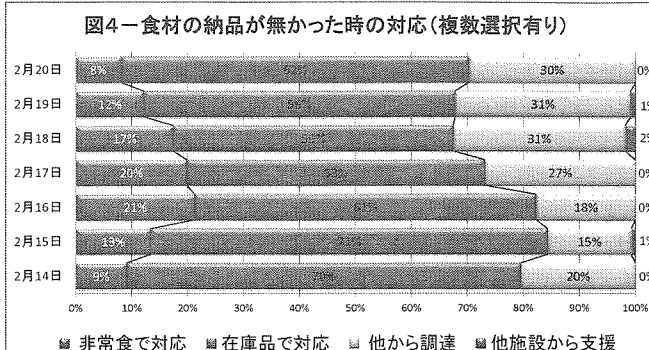
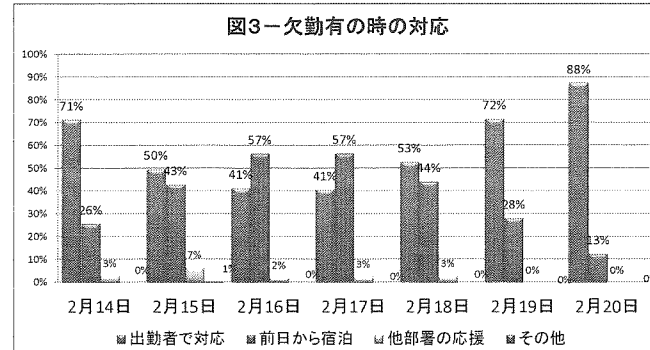
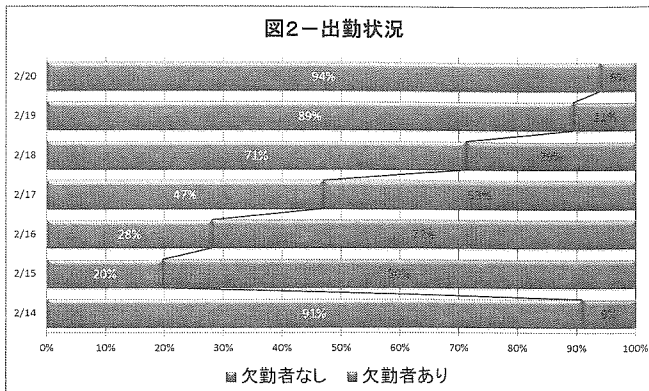
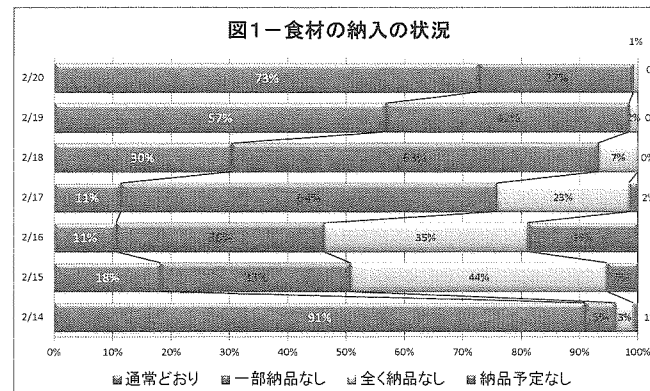
その、リーダーが中心となり各都道府県栄養士会ではJDA-DATスタッフを順次養成していく事になっているので、山梨県栄養士会もスタッフ養成の準備に今後計画を立てて行かねばと思います。

そして、全国の栄養士会がJDA-DAT体制の構築、整備を図り今後の災害発生時に備えること。また、平時においても専門性をいかし、行政栄養士(公助)との協働、地域住民(自助)への支援、地域や施設間(共助)との連携などにより防災・減災への取り組みを地域とともに推進していく体制を整備することです。

「災害復興支援活動および日本栄養士会災害支援チームに関する報告書」より

平成26年2月の豪雪による給食サービスの影響及び対応に関する調査結果

山梨学院短期大学食物栄養科 田草川研究室・公益社団法人山梨県栄養士会



「栄養やまなし」100号記念

「栄養やまなし」で主な出来事を振り返る、先輩諸氏の尽力に感謝しよう

栄養やまなし 100号記念
山梨県栄養士会 会長 田草川 誠

「栄養やまなし」100号記念。この100号は、山梨県栄養士会の歴史を振り返る機会となりました。100号の発行に当たっては、先輩諸氏の尽力に感謝申し上げます。また、この機会に、山梨県栄養士会の活動について、皆様にご紹介申し上げます。

栄養やまなし No.5
山梨県栄養士会 会長 田草川 誠

「栄養やまなし」No.5の発行に当たっては、先輩諸氏の尽力に感謝申し上げます。また、この機会に、山梨県栄養士会の活動について、皆様にご紹介申し上げます。

山梨県栄養士会 会長 田草川 誠

「栄養やまなし」No.5の発行に当たっては、先輩諸氏の尽力に感謝申し上げます。また、この機会に、山梨県栄養士会の活動について、皆様にご紹介申し上げます。

山梨県栄養士会 会長 田草川 誠

「栄養やまなし」No.5の発行に当たっては、先輩諸氏の尽力に感謝申し上げます。また、この機会に、山梨県栄養士会の活動について、皆様にご紹介申し上げます。

No.1 昭和51年9月
中村大家事務局長(県保
予防課勤務)の奥様直筆

No.5 昭和55年2月
深山武支部長の巻頭言

No.5 昭和57年1月
甲府調理師学校長 増沢とし子先生(会員)からの投稿

「栄養日本」昭和57年1月号に
綴り込んで会員に配布、田草川憲男事務局長(県保
予防課勤務)が筆耕

「栄養やまなし」No.100号記念
山梨県栄養士会 会長 田草川 誠

「栄養やまなし」No.100号記念。この100号は、山梨県栄養士会の歴史を振り返る機会となりました。100号の発行に当たっては、先輩諸氏の尽力に感謝申し上げます。また、この機会に、山梨県栄養士会の活動について、皆様にご紹介申し上げます。

「栄養やまなし」No.5
山梨県栄養士会 会長 田草川 誠

「栄養やまなし」No.5の発行に当たっては、先輩諸氏の尽力に感謝申し上げます。また、この機会に、山梨県栄養士会の活動について、皆様にご紹介申し上げます。

山梨県栄養士会 会長 田草川 誠

「栄養やまなし」No.5の発行に当たっては、先輩諸氏の尽力に感謝申し上げます。また、この機会に、山梨県栄養士会の活動について、皆様にご紹介申し上げます。

山梨県栄養士会 会長 田草川 誠

「栄養やまなし」No.5の発行に当たっては、先輩諸氏の尽力に感謝申し上げます。また、この機会に、山梨県栄養士会の活動について、皆様にご紹介申し上げます。

(栄養日本・昭和57年
10月号に綴り込み)
行政監察庁が栄養士法廃
止の方針を発表

No.12 昭和58年3月
栄養士法改悪阻止総決
大会・東京九段会館に全
国の栄養士が結集・山梨
県もバス1台で参加

No.17 昭和60年5月
「かいじ国体」において、
宿泊施設・弁当の献立
作成で協力

No.18 昭和60年10月
社団法人山梨県栄養士
会設立

「栄養やまなし」No.100号記念
山梨県栄養士会 会長 田草川 誠

「栄養やまなし」No.100号記念。この100号は、山梨県栄養士会の歴史を振り返る機会となりました。100号の発行に当たっては、先輩諸氏の尽力に感謝申し上げます。また、この機会に、山梨県栄養士会の活動について、皆様にご紹介申し上げます。

「栄養やまなし」No.5
山梨県栄養士会 会長 田草川 誠

「栄養やまなし」No.5の発行に当たっては、先輩諸氏の尽力に感謝申し上げます。また、この機会に、山梨県栄養士会の活動について、皆様にご紹介申し上げます。

山梨県栄養士会 会長 田草川 誠

「栄養やまなし」No.5の発行に当たっては、先輩諸氏の尽力に感謝申し上げます。また、この機会に、山梨県栄養士会の活動について、皆様にご紹介申し上げます。

山梨県栄養士会 会長 田草川 誠

「栄養やまなし」No.5の発行に当たっては、先輩諸氏の尽力に感謝申し上げます。また、この機会に、山梨県栄養士会の活動について、皆様にご紹介申し上げます。

No.29 平成元年1月
藤巻一雄会長、小沢量
子・梶原徳蔵副会長

No.37 平成3年10月
「栄養なんでも相談」始
まる

No.40 平成4年10月
全国健康福祉祭(おんり
んピック)山梨大会に協
力

No.40 平成4年10月
食生活改善推進委員会
のみそ汁塩分測定実施結
果を紹介

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

平成 27 年 元旦
 公益社団法人 山梨県栄養士会 賛助会員 (順不同) 平成 27 年 1 月 1 日現在

社 名	電 話	担 当	業 務 内 容
エ コ ア 株 式 会 社	055-241-1755	相 川 秀 樹	防鼠害虫駆除
和 泉 産 業 株 式 会 社	055-222-1153	高 石 俊 二	食器、厨房機器
上 田 屋	055-266-2331	上 田 昭 雄	ソフクリーン、もずく
大 塚 製 薬 甲 府 出 張 所	055-276-8581	村 上 裕 之	ポカリスエット、ネイチャーメート
オ ギ ノ 食 糧 (株)	055-222-5181	深 沢 千恵子	給食材料
(有)オズプリンティング	055-235-6010	丸 山 健	印刷、出版、紙工
(株)三和化学研究所 東京支社	03-3232-0571	中 山 清 高	医療用食品の研究開発・販売
甲 信 食 糧 (株)	055-273-4561	入 倉 斉 二	食品材料卸
シ キ シ マ 醬 油 (株)	055-273-6844	小 林 秀 男	醤油、減塩調味料、ジャネフ製品
信 濃 化 学 工 業 (株)	0262-43-1115	営 業 部 上 野 清 登	食器、トレイ
(株) テ ン ヨ 武 田	055-266-5251	深 沢 正 道	醤油、給食材料
(株) 日 新 厨 房 企 画	055-273-3881	杉 本 哲 史	厨房設備の企画・設計・施工管理、厨房機器販売、修理・保守点検管理、厨房に関する相談業務
(株) は く ば く 管 理 本 部	0556-22-8989	磯 貝 聡	麦の総合食品メーカー、「骨太家族」
宮 坂 醸 造 (株)	055-241-8181	中 澤 等	味噌
湊 興 (株)	055-226-3742	小 野 健 一	鮮魚、煮貝
(株) マ ル ハ チ 村 松	054-622-7371	森 田 新 治	鰹の素、だしの素
山 梨 ヤ ク ル ト 販 売 (株)	055-237-8960	柳 本 剛	健康科学ヤクルト
三 信 化 工 株 式 会 社	03-3539-3414	野 田 伸太郎	メラミン、ポリプロ食器
(株)H＋Bライフサイエンス 東京支店	03-5298-8188	吉 村 眞 一	マービー、粉飴、オリゴワンの製造販売
テ ル モ 株 式 会 社	0263-48-0701	大 庭 幸一郎	医療用食品の製造、販売
東 洋 羽 毛 首 都 圏 販 売 株 式 会 社 西 東 京 営 業 所	042-675-8811	柳 沼 喜 市	羽毛布団
東京サラヤ(株)メディカル事業本部 東京支店 ヘルスケア1課	03-3813-5630	高 麗 武 男	食品衛生材料、栄養食品の製造、販売
日 清 医 療 食 品 (株) 中 部 支 店	026-269-6700	崔 田 学	給食委託業務、給食材料、濃厚流動食
株式会社 岩崎 松本営業所	0263-39-0501	石 和 利 康	食生活、栄養指導用食品模型製造、販売
株 式 会 社 ク リ ニ コ	03-3793-3939	鳥谷尾 直 子	病態栄養食品の普及、販促
東 洋 シ ス テ ム サ イ エ ン ス	045-451-3191	天 野 雅 浩	給食・栄養管理及び指導ソフト「カロリーメイク」の開発販売
(株) オ オ キ	055-273-6644	芦 澤 秀 雄	食品、環境の衛生管理、ソフト、ハードの全般
(株) ユ ウ シ ス テ ム	055-223-3085	山 口 竹 夫	福祉関係ソフトウェア開発、コンピューター機器販売
株式会社明治 関東支社	042-540-7322	志 村 有希子	栄養食品、乳製品製造、販売

社 名	電 話	担 当	業 務 内 容
ネ ス レ 日 本 (株) ネスレヘルスサイエンスカンパニー	080-1379-4874	望 月 悠 平	栄養食品（アイソカルシリーズ）販売
株 式 会 社 フ タ バ	0256-45-7272	今 井 和 郎	けずり節・だし粉末・その他食材製造・販売
花王カスタマーマーケティング(株) 東京リージョン	03-6746-2373	黒 田 浩 子	花王製品の販売
長谷川化学工業株式会社	047-482-1001	本 田 光 夫	まな板・ほうちょうなどの製造販売
大 陽 食 品 株 式 会 社	055-224-5415	新 津 明	業務用総合食材、老人医療用食材卸
エ コ ラ ボ 株 式 会 社	03-5285-2653	松 野 泰 明	洗浄剤、殺菌剤の製造、販売
株 式 会 社 セ ン だ い	055-262-1170	伊 藤 英 文	納豆の製造販売
カゴメ株式会社 東京支社	03-3861-7011	原 野 樹 里	飲料、調味料・パスタソースなどの製造・販売
伊 那 食 品 工 業 株 式 会 社	0265-78-1121	向 山 慎太郎	寒天及び介護食用寒天製品・家庭用食料品（デザート等）製造・販売
トオカツフーズ株式会社	045-564-5741	森 田 道 昌	弁当・おにぎり・サンドイッチ・惣菜・麺類などの調理済食品及び冷凍弁当・冷凍惣菜などの製造販売宅配
(株)日本食生活改善指導会 東京本部 関東事業所	042-730-8323	豊 澤 範 衛	無水鍋など調理器具のPR
(株)ベネフィットワン・ヘルスケア	03-6417-9981	井 田 章 子	特定保健指導事業・各種健康セミナー等事業
株 式 会 社 ファ ン デ リ ー	03-6741-5890	梶 原 哲 也	栄養士による食事の宅配・栄養相談、医療食の通信販売、栄養士のポータルサイト運営など
旭化成ファーマ株式会社	026-224-7515	長 野 営 業 所 ヘルスケア担当 渡 邊 史 乃	・医療用医薬品の製造・販売 ・ヘルスケア製品・流動食の製造・販売
株 式 会 社 お ぎ そ	0572-59-8639	矢 倉 尚	学校・保育所・病院・福祉施設の給食用食器、リサイクル強化磁器食器の製造販売。破損した強化磁器食器の回収・リサイクル等、環境に配慮した事業活動
株 式 会 社 コ ー ゲ ヅ	055-260-7311 080-3472-9586	山 梨 営 業 所 加 藤 所 良	冷凍食品・食材関連品の卸販売業務
生活協同組合パルシステム山梨	055-243-6327	小 沢 浩 二	食品・家庭用品等の販売
味の素冷凍食品株式会社	03-5798-8653	地 濃 雅 実	冷凍食品の研究開発・製造・販売
ホシザキ東京株式会社山梨支店	055-237-7126	宮 下 正 一	業務用厨房機器の販売及びアフターサービス
サンワフーズ株式会社	0550-83-1122	齊 藤 猛	病院・老健施設給食、社員食堂・レストラン等
株式会社インフィニバリュー	070-6988-0025	玉 川 眞奈美	メニュー、新商品開発及び販路拡大・アレルギー対応食、食材のプロモーション
株 式 会 社 宮 源	080-8513-9276	高 橋 浩 幸	治療食、ゲル化剤、非常食等の製造販売
有限会社 糧とく東京営業所	03-5246-4203	伊 藤 喜 嗣	米（給食用）の精米・販売、厨房・医療機器の販売、業務用パン（常温・冷凍）の卸売等
株 式 会 社 モ リ イ 食 品	090-8688-1922	足 利 俊一郎	魚肉練り製品の製造販売
味の素(株)東京支社 甲府出張所	055-268-1255	西 嶋 慎 治	家庭用・外食用の調味料、加工食品の販売
キ ッ セ イ 薬 品 工 業 (株) ヘルスケア事業部	0263-54-5010	藤 井 義 輝	介護・高齢者向け、腎患者向け食品の開発、販売
ライオンハイジーン株式会社	03-5819-6667	本 多 美 邦	業務用洗剤、除菌剤の製造販売 総合衛生管理提案・診断・講習の実施



事務局からのご案内



◎平成27年度 年会費の納入のお願い

自動払込みの手続きをとられていない会員は、平成27年3月30日(月)までに納入をお願いします。

☆銀行の指定口座

山梨中央銀行甲府駅前支店
(普通) 287296
公益社団法人 山梨県栄養士会

振込み手数料	(ATM)	(窓口扱)
山梨中央銀行甲府駅前支店からの場合	108 円	108 円
山梨中央銀行本店・他支店からの場合	108 円	324 円

☆ゆうちょ銀行の払込み先

口座 10890 - 11752671
公益社団法人 山梨県栄養士会

払込み手数料

通帳から払込み(窓口扱)	144 円
通帳から払込み(ATM 扱)	無 料
現金を窓口で払込み	540 円

◎平成27年度 正会員会員証について

平成24年度より会員証は、5年更新のカード形式となっております。(平成24年～28年まで有効)

そのため、平成25年度より平成28年度まで、会員証の送付はありませんので、ご了承ください。なお、紛失の場合は有料(1,000円)にて再発行いたします。また、会費の領収書は

通帳記帳、コンビニ払込受領証等により代えさせていただきますが、必要な場合は、事務局までご連絡下さい。

会 費

日本栄養士会費 6,500 円
山梨県栄養士会費 7,500 円
連盟会費 2,000 円(連盟の口座)

◎毎年の会費の納入は自動引落しをお願いします。 (毎年4月10日に引落します)

自動引落とし手続きは、山梨中央銀行本・支店、又はゆうちょ銀行で自動払込利用申込を行って下さい。手続きには、通帳と印鑑が必要です。

振替指定口座(中銀)または払込先(ゆうちょ)は、上記の会費振込先のそれぞれの口座です。

引落とし手数料

山梨中央銀行	108 円	預金口座振替以来 (自動会計サービス)
ゆうちょ銀行	25 円	自動払込利用申込

◎会員登録事項の変更は早めにご連絡を!!

- ・住所が変わった時・・・
- ・勤務先が変わった時・・・
- ・結婚等で姓が変わった時・・・
- ・県外に引っ越しの時 ⇒ <転出届>
- ・退会の時 ⇒ <退会届>

◆これらの変更があった時は、必ず、県栄養士会へ連絡をいただくか、「会員Webサービス」にてご自身で会員データの更新をお願いいたします。更新方法は、本誌P5「栄養士の会員情報をWebで見るには？」をご覧ください!!

事務局の年末・年始について

平成26年12月27日(土)～平成27年1月4日(日)までお休みとなります。

編 集 後 記

明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

今回の新年号は記念すべき第100号となります。これからも充実した情報や会員さまの声をお伝え出来る用がんばってまいります。今後とも宜しくお願いいたします。皆様からのご意見をお待ちしております。

(編集委員一同)

◎編集委員

田草川憲男、平井美樹夫、羽中 田睦
佐藤 悦子、塚原 順子、天野江津子
沢登 京子、町田 真実、風間 智恵



栄養やまなしNo.100 平成27年1月1日
発行所 公益社団法人山梨県栄養士会
〒400-0805 甲府市酒折1丁目1-11 日星ビル4階
TEL/FAX 055-222-8593
ホームページアドレス <http://www.eiyouyamanashi.com/>
メールアドレス yamaei@sky.plala.or.jp
印刷所 (有)オズプリンティング

◆山梨県栄養士会 HP の会員専用ページへの入り方 パスワード：yamaei2013